



2025 年 9 月 16 日

各位

会 社 名 株式会社トライアイズ
代 表 者 代表取締役社長 東郷 薫
(コード 4840 東証グロース)
問 合 せ 先 管理部IRG課長 高橋 圭紀
電 話 03 (3221) 0211

上場維持基準の適合に向けた計画の変更について

当社は 2021 年 12 月 15 日にグロース市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、2024 年 3 月 29 日に「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況及び計画書の更新（計画期間の変更等）」を提出し、計画期間の変更及び進捗状況について開示しております。そして、2024 年 12 月末時点における計画の進捗状況等について、2025 年 3 月 31 日に「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」を開示しております。この度当該計画の変更を行いましたのでお知らせいたします。

記

1. 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書の変更について

取組の基本方針及び取組内容について、「スタンダード市場への市場区分変更を検討する」旨を追加しました。変更後の基本方針、課題及び取組内容については以下のとおりであります。（追加部分について下線を付しております。）

・基本方針について

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資する施策を実行することにより、グロース市場上場維持基準への適合を目指していきます。この方針に変更はありません。これに加え、スタンダード市場の市場区分変更を検討いたします。

・課題及び取組内容について

（課題）

主要要素である「株価」が低迷していることが原因です。当社グループの業績の推移は以下のとおりであります。

単位：百万円、円

項目	2019 年 12 月期	2020 年 12 月期	2021 年 12 月期	2022 年 12 月期	2023 年 12 月期
売上高	1,715	1,004	1,004	721	636
営業利益	150	98	△150	△104	△8
親会社株主に帰属する 当期利益	125	2	△224	468	102
一株当たり純利益	15.79	0.35	△30.35	60.14	13.10
一株当たり純資産	577.02	547.3	524.16	673.13	651.12

2023 年 12 月末時点を含む当社 1 株当たり純資産は過去 5 連結会計年度において 500 円を超えており、上場株式数を乗じると上場維持基準を充たしていることとなります。

当社の業績は、営業利益が不安定であり、過去 3 連結会計年度においては、営業損失を計上しております。これらの事実から、当社の株価が低迷しているのは、当社株価が当社の業績が不安定であり且つ当社の業績がグロース市場の要求する業績水準に達して

いないことによるものであると考えられます。そのため、持続的な成長と企業価値向上に資する施策を進めていくことが肝要と考えております。

(取組内容)

当社は、2024年3月27日に中期計画を公表し、その実現に向けて事業展開を行っております。中期計画の達成により継続的な収益の確保・拡大に努め、前述の課題に対応する所存です。

中期計画における売上高、営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の推移は以下のとおりであります。

単位：百万円

項目	2024年12月期	2025年12月期 (計画達成年度)	2026年12月期
売上高	961	2,882	3,160
営業利益	2	166	203
親会社株主に帰属する当期純利益	194	358	166

上記の数値を達成するための各事業セグメントの主要な取り組みは以下のとおりです。

セグメント	施策
建設コンサルタント事業	・ 人員補強によるダムを中心とする河川・砂防分野の強化 ・ 点検業務及び調査業務に係る他企業との業務協力による人材不足の補完 ・ 測量分野に強い企業との業務提携により新たなサービスの創造
ファッションブランド事業	・ 現在の品ぞろえの大規模なりニューアルを始めとした消費者目線にたった新商品の開発・販売 ・ 百貨店、専門店販売の拡大及び郊外型ショッピングセンターへの進出等をはじめとした販路の拡大 ・ ターゲット広告及びメディア出演の拡大による認知度の向上
投資事業	・ 積極的な人材の採用と育成や収益に対する意識強化 ・ AI システム等の導入により作業効率・業務スピードの迅速化 ・ 既存事業リゾート開発による高収益化の実現 ・ 賃借事業のテコ入れによる安定的な収益の確保 ・ 新規事業「買取再販」による資金の活動及び収益の底上げ

(注) 中期計画の詳細は2024年3月27日に公表した「事業計画及び成長可能性に関する事項」をご参照下さい。

これらの施策により、営業利益を継続的に計上し、計画達成年度における業績予想は売上高2,882百万円、営業利益166百万円、当期純利益358百万円、中期計画の最終年度である2026年12月期の連結業績予想は、売上高3,160百万円、営業利益203百万円及び当期純利益166百万円としております。

安定的な利益の確保及び継続的な利益の拡大により、持続的に成長し、且つ企業価値の増大を果たすことにより、現在の株価の水準を引き上げることができると考えております。これらに加え、現在の会社の状況、成長ステージ等に鑑みスタンダード市場への市場区分変更を検討いたします。

以上